

第8回大阪府教育振興基本計画審議会

日 時：令和4年7月8日（金）10：00～

会 場：プリムローズ大阪 3階 高砂

次 第

1 開 会

2 議 事

- ・第2次大阪府教育振興基本計画の骨子（イメージ）について

3 閉 会

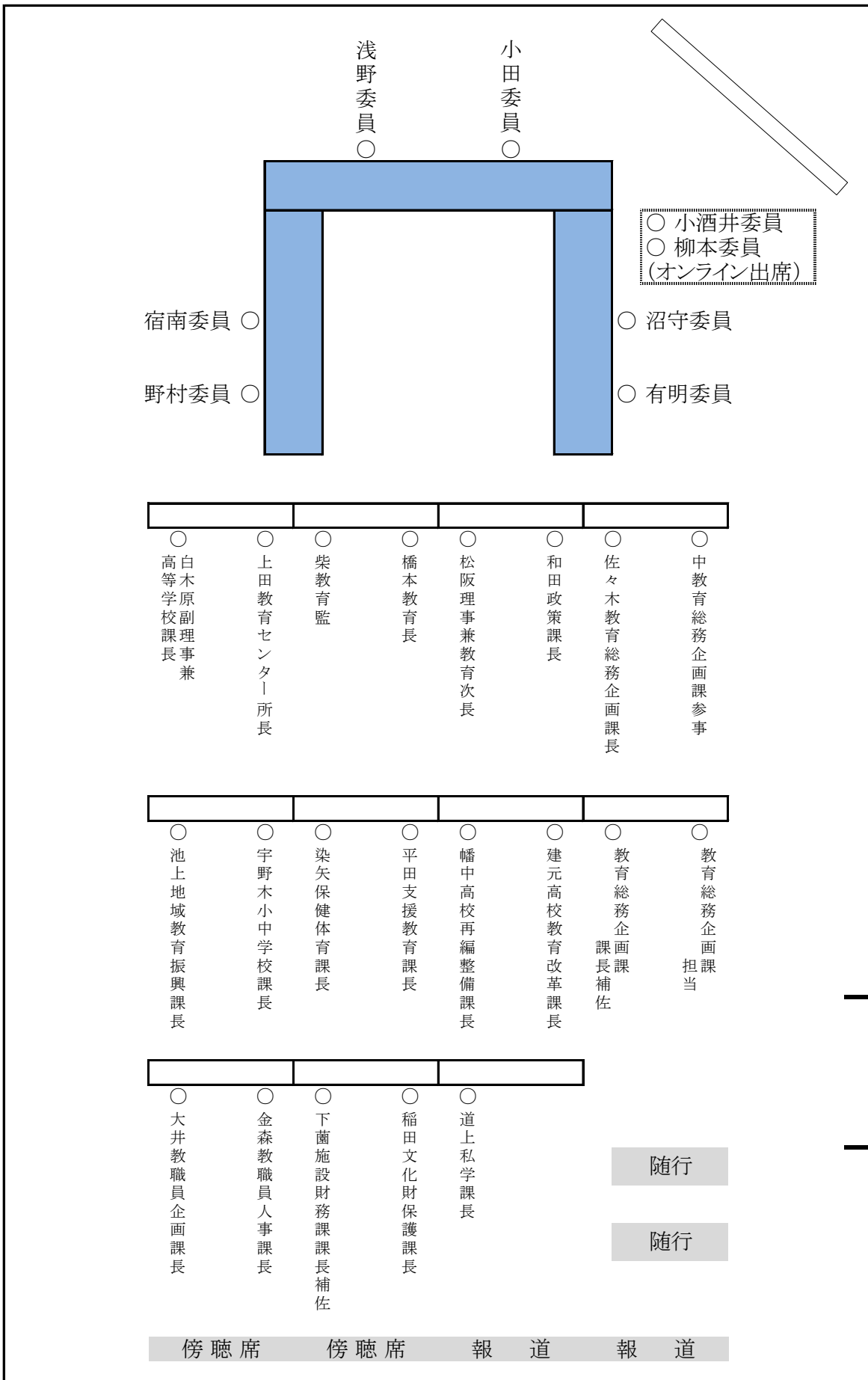
配付資料

- ・次第
- ・大阪府教育振興基本計画審議会委員名簿兼出席者名簿
- ・配席図
- ・第8回大阪府教育振興基本計画審議会 資料

大阪府教育振興基本計画審議会委員名簿兼出席者名簿

| 氏名 | 職名 | 分野 | 出欠 | 備考 |
|--------|---|----------------------|---------------|------|
| 浅野 良一 | 兵庫教育大学大学院 特任教授 | 学識経験者/ 教育学 | 出席 | 会長 |
| 小田 浩伸 | 大阪大谷大学 教育学部長 | 学識経験者/ 教育学 | 出席 | 会長代理 |
| 小酒井 正和 | 玉川大学 教授 | 学識経験者/ ICT | 出席 (オンライン) | |
| 沼守 誠也 | 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 総務本部長 | 学識経験者/ 教育行政、私学 | 出席 | |
| 柳本 朋子 | 大阪教育大学 教授 | 学識経験者/教育学 | 出席 (オンライン) | |
| 有明 三樹子 | 株式会社 りそな銀行 取締役 | 専門的知見を有する者/ 企業関係者 | 出席 | |
| 宿南 洋一 | 大阪府PTA協議会 会長 | 専門的知見を有する者/ 保護者 | 出席 | |
| 野村 卓也 | 一般社団法人 ナレッジキャピタル総合プロデューサー 株式会社 スーパーステーション 代表取締役社長 内閣府 イノベーション推進担当政策参与 | 専門的知見を有する者/ 企業関係者 | 出席 | |

配席図



目次

はじめに

第1章 大阪府教育振興基本計画の策定にあたって

第2章 第1次大阪府教育振興基本計画の振り返り

第3章 大阪の教育を取り巻く状況

第4章 第2次大阪府教育振興基本計画でめざすもの

第5章 基本方針

第2次大阪府教育振興基本計画骨子[イメージ]

第1章 大阪府教育振興基本計画の策定にあたって

計画の策定趣旨や位置づけ、期間等を記載

策定の趣旨

▷これまでの取組みのあらまじや、計画策定にあたっての考え方を記載

計画の位置づけ、計画期間等

◆計画の位置づけ

▷「教育基本法」第17条第2項及び「大阪府教育行政基本条例」第3条に規定する計画

◆計画の期間

▷令和5～14年度までの10年間

◆事業計画の作成

▷本計画に掲げた目標の実現に向け、令和5～9年度までを計画期間とする前期事業計画を別途作成

第2章 大阪府教育振興基本計画の振り返り

第7回審議会資料「大阪府教育振興基本計画（平成25年度～令和4年度）の振り返り」の内容を中心に記載。

取組みのあらまし

▷これまでの取組みのあらましと主な取組みを記載

データの推移等

◆取組みの実績データ

▷取組みの進捗結果をデータとして図示するとともに、定量的な分析を記載

進捗の総括と今後の対応

◆進捗の総括

▷進捗結果について、これまでの取組みも踏まえた総括や抽出された課題を記載

◆今後の対応

▷第1次計画を踏まえ、第2次計画でめざすもの等を記載

第3章 大阪の教育を取り巻く状況

近年の大阪の教育を取り巻く状況について、グラフやデータ等を記載。また、第2章の振り返りに加えて、第2次計画に盛り込むべきポイントなどを記載。

大阪の教育の基礎データ

- ▷大阪府全体の人口減少や少子高齢化についてのデータを記載
- ▷府内の公立中学校卒業生数の推移について、実績値・推計値を記載

第1次計画策定後の状況

- ▷グローバル化の進展について
- ▷DXの進行について
- ▷コロナ禍による影響、特に学校教育活動への影響とそれを契機としたICTの急速な整備等について
- ▷3つの柱からなる新たな学習指導要領の開始について
- ▷全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けた「令和の日本型学校教育」の構築（中教審答申）について

第4章 第2次大阪府教育振興基本計画でめざすもの

計画策定の背景、第2次計画における大阪の教育がはぐくむ人物像や基本方針のイメージを記載

これからの社会（計画策定の背景）

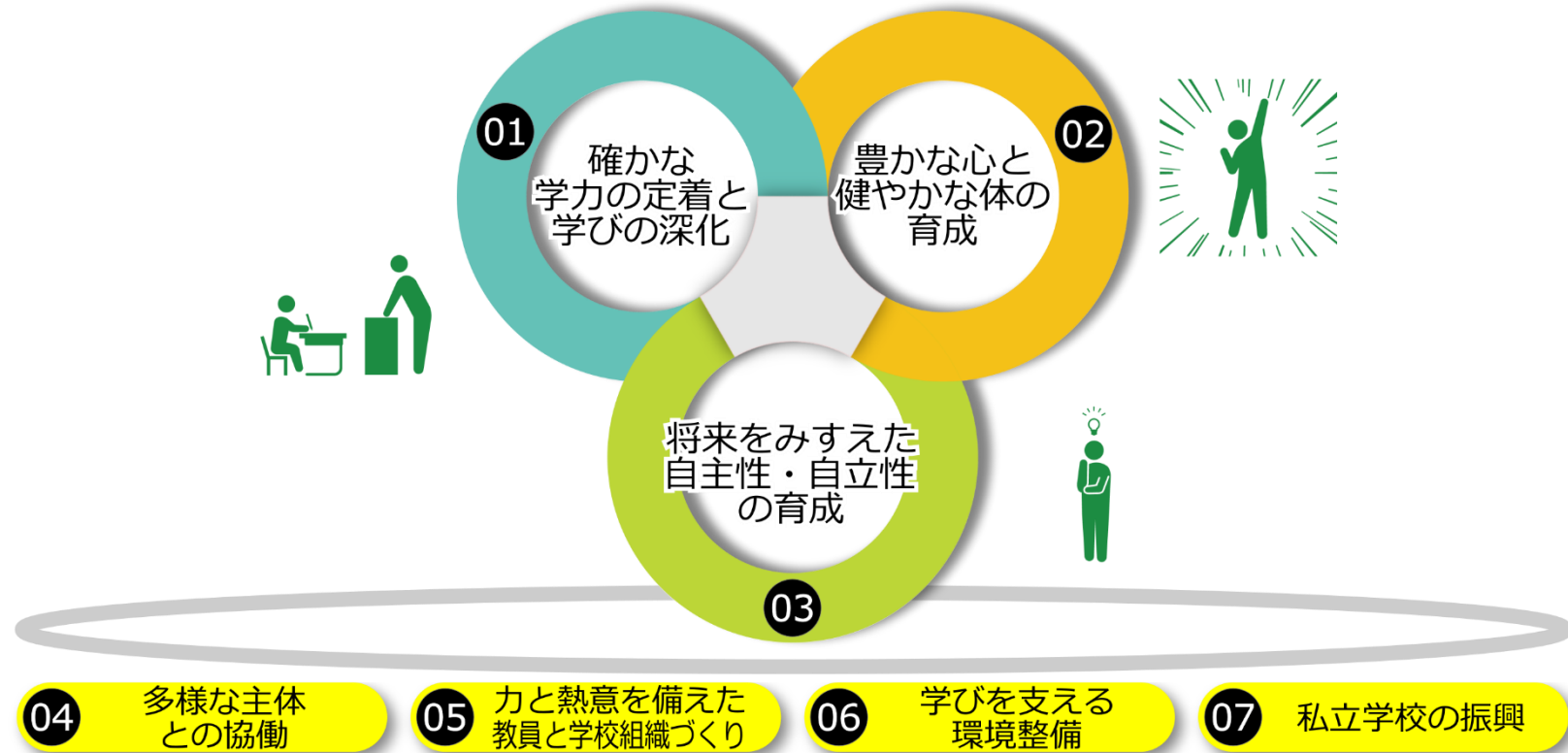
- ▷グローバル化やDX、人口減少及び高齢化等がこれまで以上に進行
- ▷Society5.0（超スマート社会）の到来、労働市場の構造や職業自体が抜本的に変化
 - ➡将来予測が困難な時代となる一方、誰もが活躍し、様々な社会課題を解決できる可能性

大阪の教育がはぐくむ人物像

- ▷人生を自ら切り拓いていく人
- ▷認め合い、尊重し、協働していく人
- ▷世界や地域とつながり、社会に貢献していく人

第2次大阪府教育振興基本計画骨子[イメージ]

基本方針



- ◆基本方針に基づく様々な取組みを進めるにあたっては以下を重要視。
 - ▷一人ひとりの良さや可能性を引き出し、最大限伸ばす教育
 - ▷子どもの多様性に応じ、誰一人取り残さない教育

第5章 基本方針

基本方針1 確かな学力の定着と学びの深化

- ◎時代が大きく変化し、予測困難な将来となる中、将来を生き抜く力や自ら考える力等、確かな学力の定着をめざすとともに、これからの社会を見据えた実践的な学びにより、学びの深化をめざす
- ◎国際社会で活躍する人材の育成や学び直しの提供など、各学校での特色ある魅力づくりをめざす
- ◎障がいの有無や日本語指導の必要性等、子どものニーズや多様性に適切に対応し、教育の機会均等を確保する

重点取組（案）

<確かな学力の定着と学びの深化>

- ◆「基礎・基本」の定着と「思考力・判断力・表現力」の育成
- ◆学習意欲向上の促進と学び続ける姿勢の育成
- ◆学力・学習状況等の進捗把握や結果の活用
- ◆自らの希望する進路を実現する能力の習得
- ◆個々の子どもの状況に応じた学びと他者と協働する学びの実現
- ◆探究活動や教科横断的な学びの充実
- ◆社会のグローバル化を見据えた英語教育の一層の推進
- ◆I C Tを活用した学力向上等の一層の推進

第5章 基本方針

基本方針1 確かな学力の定着と学びの深化

- ◎時代が大きく変化し、予測困難な将来となる中、将来を生き抜く力や自ら考える力等、確かな学力の定着をめざすとともに、これからの社会を見据えた実践的な学びにより、学びの深化をめざす
- ◎国際社会で活躍する人材の育成や学び直しの提供など、各学校での特色ある魅力づくりをめざす
- ◎障がいの有無や日本語指導の必要性等、子どものニーズや多様性に適切に対応し、教育の機会均等を確保する

重点取組（案）

<学校の特色ある魅力づくり>

- ◆ 社会の変化やニーズに対応した府立高校の教育内容の充実
- ◆ 私立学校におけるさらなる特色・魅力づくりへの支援

<教育の機会均等の確保>

- ◆ 一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導・支援・教育環境の充実
- ◆ 公平でわかりやすい入学者選抜の実施
- ◆ 公私を問わない自由な学校選択の確保

第5章 基本方針

基本方針2 豊かな心と健やかな体の育成

- ◎ 社会規範や思いやりの醸成等とともに、生徒指導上の課題や、子どもの貧困や家庭の社会的孤立、障がいの有無等に関わらない自立・社会参画等の課題を解決し、子どもの豊かな心を育成する
- ◎ 運動・スポーツに接する機会の増加、子どもに望ましい環境の充実とともに、より良い生活習慣の定着を通じた生涯にわたる健康を保持・増進できる資質や能力を身に付けることで、健やかな体を育成する

重点取組（案）

<豊かな心の育成>

- ◆ ルールを守り、人を思いやる豊かな人間性のはぐくみと互いに高め合う人間関係づくり
- ◆ 人権・多様性を尊重する教育の推進と社会に参画、貢献する意識や態度の育成
- ◆ いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化
- ◆ 様々な主体との協働による子どもの多様性に対応できる相談・支援機能の充実

<健やかな体の育成>

- ◆ 運動・スポーツに対する興味・関心の向上と運動機会の充実による体力づくり
- ◆ 生活習慣の定着を通じた健康の保持・増進

第5章 基本方針

基本方針3 将来をみすえた自主性・自立性の育成

- ◎ キャリア教育等の実施にあたり、子どもたちが互いに協力しながら粘り強く挑戦するとともに、自主性・自立性を育成し、自己肯定感等を高めることをめざす
- ◎ 子どもが自身の個性・特性を把握し、社会の担い手となるよう、小中高一貫したキャリア教育を推進する

重点取組（案）

<自主性・自立性の育成>

◆ 夢や志を持って粘り強くチャレンジする力の育成

- ◆ 社会の一員としての自覚や責任感を育成し、子どもの自立を支える教育の充実

<一貫したキャリア教育>

◆ キャリア教育の推進や進路指導・支援の充実

- ◆ 子ども一人ひとりへの継続的・系統的な学びと支援の連続性を担保する、校種間や関係機関との更なる連携の充実
- ◆ 専修学校・各種学校における職業教育の促進

第5章 基本方針

基本方針4 多様な主体との協働

- ◎ 子ども・保護者のニーズが多様化する中、様々な体験や学びを深めるべく、多様な主体との協働、地域とともにある学校づくりを推進するため、外部人材・機関とのつながりの拡充をめざすとともに、府立高校の魅力化・特色化を図ることに加え、各校の強みや魅力、特色と社会的役割等の情報の発信を推進する
- ◎ 共働きの増加等、社会状況の変化を踏まえつつ、保護者・地域の協力を得ることができる学校運営をめざすとともに、地域人材の育成・定着、参画する人材の拡充により、地域の実態等に応じた学校と地域の連携・協働による活動の継続、充実をめざす

重点取組（案）

<外部人材・機関とのつながり、魅力・情報の発信>

◆ 外部人材の活用や、地域・大学・企業等の外部機関とのつながりの拡充

◆ 子ども・保護者・府民に対する魅力・情報の発信

<学校と地域の連携・協働>

◆ 学校運営協議会や教育コミュニティづくり等の機会を通じた学校と地域の連携・協働の充実

第5章 基本方針

基本方針5 力と熱意を備えた教員と学校組織づくり

- ◎ 教員志願者が全国的に減少傾向にある中で、熱意ある優秀な教員を計画的に確保するとともに、資質・能力の向上のための育成に取り組む
- ◎ 経験の少ない教員や管理職候補者に対する将来を見据えた各種機会の設定と、働き方改革等により、これまで以上に子どもや保護者、社会状況、教育現場の変革に対応する学校組織づくりをめざす

重点取組（案）

<教員の確保・育成>

- ◆ 多様化する子どもや保護者、社会状況や教育現場の変革に対応する資質・能力を備えた教員の確保、育成

<学校組織づくり>

- ◆ チーム学校を意識した学校組織づくり
- ◆ 外部連携等を活用した教員の働き方改革や校務の効率化
- ◆ 私立学校における教員の資質向上と開かれた学校運営に向けた取組みの支援

第2次大阪府教育振興基本計画骨子[イメージ]

第5章 基本方針

基本方針6 学びを支える環境整備

- ◎子どもの数の変化やニーズの多様化に加え、防災や環境の観点も踏まえた学校施設等の整備推進に取り組む
- ◎人材の高齢化や感染症拡大等の状況変化の中においても、平時からの学校安全の確保、大規模災害発生時の適切な行動が可能となるよう、迅速に対応するための備えを充実し、安全・安心な教育環境を確保する
- ◎家庭の経済的事情に関わらず、自らの希望や能力に応じた自由な学校選択を確保する
- ◎今後の子どもの数の減少を見据えた活力ある府立高校づくりをめざす

重点取組（案）

<学校施設の整備>

◆時代に応じた府立学校施設等の計画的な整備推進

<安全・安心な教育環境>

◆災害時に迅速に対応するための備えの充実と安全・安心な教育環境の確保

◆私立学校における安全・安心対策の促進

<自由な学校選択の確保>

◆公私を問わない自由な高等学校選択の確保

<活力ある府立高校づくり>

◆活力ある学校づくりをめざした府立高校の再編整備

第5章 基本方針

基本方針7 私立学校の振興

◎大阪全体の教育力向上のため、私立学校における建学の精神に基づく特色・魅力ある教育を支援するなど、私立学校の振興をめざす

重点取組（案）

＜大阪全体の教育力向上のための私立学校の振興＞

- ◆さらなる特色・魅力づくりへの支援
- ◆公私を問わない自由な学校選択の確保
- ◆障がいのある子どもへの支援
- ◆いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた取組みの促進
- ◆専修学校・各種学校における職業教育の促進
- ◆開かれた学校運営に向けた取組みの促進
- ◆教員の資質向上にむけた取組みの支援
- ◆安全・安心対策の促進